

しろいし 市議会だより

2019
夏
第194号

[表紙写真]

4月25日、福岡長袋地区に販わい交流拠点施設として、白石市農産物等販売施設「おもしろいし市場」がオープンしました。



- 2～3P 6月定例会の概要・審議した議案
- 4～5P 予算審査特別委員会
- 6P 特別委員会報告
- 6～10P 市政に対する一般質問(8名)
- 11P 意見交換会
- 12P 人事・議員表彰・意見書・議案の賛否一覧
・編集後記



市内外から多くの方が買い物に訪れています。

6月定例会 一般会計補正予算など22議案を可決

令和元年6月定例会は、6月6日から6月19日までの14日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事2件、専決7件、条例8件、予算3件の計20件でした。

定例会初日、第30号議案から第38号議案が提案され、採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

2日目、第39号議案から第49号議案までの質疑が行われ、予算の3議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、6月17日と6月18日の2日間で、8名の議員が質問を行いました。

定例会最終日（6月19日）の本会議において、委員長報告を行なった後、採決の結果、第47号議案から第49号議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

また最終日に、市長提出議案2件（第50号議案及び第51号議案）が追加提案され、採決の結果、全会一致で同意・原案のとおり可決しました。

同日、議員提案による議案1件（議提第2号）が上程され、提出議員による提案理由の説明の後、質疑を経て、採決の結果、賛成少数で否決されました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市森林環境譲与税基金条例

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第27条に規定する森林環境譲与税が譲与されるにあたり、複数年積み立て、効果的な施策の執行に充てるための基金を設けるため、条例を制定するものです。

◎白石市子育て支援・多世代交流複合施設条例

白石市子育て支援・多世代交流複合施設（こじゅろうろくキッズランド）について、地方自治法第244条の2第3項の規定により、指定管理者制度を導入し、民間事業者等のノウハウや経営手法を活用することにより、利用者のニーズに対応したサービスの向上を図るため、既存の条例の全部を改正するものです。

6月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第30号	市長提案 固定資産評価委員の選任について	同意
第31号	教育委員会委員の任命について	同意
第32号	専決処分承認を求めるとして（専決第1号） （白石市市税条例等の一部を改正する条例）	承認
第33号	専決処分承認を求めるとして（専決第2号） （白石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
第34号	専決処分承認を求めるとして（専決第3号） （平成30年度白石市一般会計補正予算）	承認
第35号	専決処分承認を求めるとして（専決第4号） （平成30年度白石市国民健康保険特別会計補正予算）	承認
第36号	専決処分承認を求めるとして（専決第5号） （平成30年度白石市介護保険特別会計補正予算） （平成30年度白石市下水道事業会計補正予算）	承認
第37号	専決処分承認を求めるとして（専決第6号） （平成30年度白石市下水道事業会計補正予算） （平成31年度白石市一般会計補正予算）	承認
第38号	白石市森林環境譲与税基金条例	承認
第39号	白石市選挙公報発行に関する条例の一部を改正する条例	承認
第40号	選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	承認
第41号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市税の減免に関する条例の一部を改正する条例	承認
第42号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	承認
第43号	白石市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	承認
第44号	白石市子育て支援・多世代交流複合施設条例	承認
第45号	白石市介護保険条例の一部を改正する条例	承認
第46号	令和元年度白石市一般会計補正予算（第2号）	承認
第47号	令和元年度白石市介護保険特別会計補正予算（第1号）	承認
第48号	令和元年度白石市水道事業会計補正予算（第1号）	承認
第49号	令和元年度白石市一般会計補正予算（第3号）	承認
第50号	監査委員の選任について	承認
第51号	議員提案 令和元年度白石市一般会計補正予算（第3号）	承認
第2号	国民健康保険制度に関する意見書	否決

予 算

◎令和元年度白石市一般会計
補正予算(第2号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ1億3千392万円追加し、予算総額を143億8千138万6千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

○農商工連携を核とした賑わい交流拠点施設整備事業
(商標登録経費)149万9千円

○森林環境譲与税基金積立金
961万7千円

○学力向上プロジェクト事業
333万2千円

本会議質疑より

◎白石市森林環境譲与税基金
条例

〔質疑〕森林環境譲与税の譲与額について、本年度以降の譲与税額や譲与される期間は県から示されているのか伺う。

〔答弁〕森林環境譲与税は9割が市町村、1割が都道府県に配分され、市町村の配分額のうち、10分の5を私有林人工林面積、10分の3を各市町村の人口、10分の2を市町村の林業就業人数で按分した額が市町村に譲与される。

県からは令和16年度までの見込みが示されており、その総額は3億2千790万4千円となっている。

〔質疑〕令和16年度までの総額は、3億2千790万4千円のとことだが、年度ごとの額は示されているのか。

〔答弁〕年度ごとの金額については、令和元年度から3年度までの各年度において971万5千700円、令和4年度から6年度までの各年度において1千457万3千500円、令和7年度から10年度までの各年度において2千64万5千800円、令和11年度から14年度までの各年度において2千671万8千100円、令和15年度及び16年度の各年度において3千279万400円が譲与される見込みである。

◎白石市子育て支援・多世代交流複合施設条例

〔質疑〕今議会のタイミミングにおいて、こじゅうろうキッズランドへ指定管理者制度を導入するための改正条例を提案した理由を伺う。

〔答弁〕こじゅうろうキッズランドの指定管理者制度導入は、民間事業者等の活力を活用することにより、より一層利用者のニーズに対応したきめ細やかなサービスを提供し、利用者の満足度を上げるとともに、より多くの利用者を確保することを目的としているものである。

指定管理者制度導入に当たっては、その施設の利用者数や運営状況などの把握が必要な条件であると考えている。

こじゅうろうキッズランドは、本年の8月をもってオープンから1年が経過することとなり、1年を通じた利用者数や運営状況などの把握が可能と考え、今議会に改正条例を提案し、令和2年4月から指定管理者制度の導入を目指すものである。

〔質疑〕指定管理者については、公募するのか、非公募とするのか伺う。

〔答弁〕地方自治法では、指定管理者の指定の手続き等については地方公共団体の条例で定めるとされており、本市では、白石市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例第2条の規定により、原則として公募とするものとしている。

また、昨年12月に策定した白石市行財政改革推進計画集中改革プラン第4次改訂版においても、改革項目の1つに指定管理者制度等の活用を掲げ、施設の活性化を図るため、さらなる指定管理者制度導入施設の検討と公募対象施設の拡大を検討していることとしている。

このことから、こじゅうろうキッズランドについては、公募による指定管理者制度導入を図り、同様に地方創生関連交付金により整備したおもしろい市場についても、今後、条例改正の上、公募による指定管理者制度導入を図りたいと考えている。

◎令和元年度白石市一般会計
補正予算(第2号)

〔質疑〕学力向上プロジェクト事業の具体的な内容について伺う。

〔答弁〕今回の補正は、当初予算可決後に宮城県の新規事業である学力向上マネジメント支援事業の受託が内定したことから、予算を計上したものである。

当初予算では学力検査を4月に市単独で実施するとしていたが、新たに12月にも実施し、また、児童・生徒の個々の意欲、満足感、学級集団の状態を測定する調査を実施することとしている。



白石高校社会研究部の生徒が傍聴に訪れました

予算審査特別委員会

第47号議案・令和元年度白石市一般会計補正予算(第2号)から第49号議案・令和元年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)までの3議案について、定例会2日目(6月10日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・松野久郎、副委員長・保科善一郎)は、6月11日に審査を行い、すべての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和元年度白石市一般会計補正予算(第2号)

場3件の商標登録である。

総務費

〔質疑〕商標登録料149万9千円について、これは、おもしろい市場1件の商標登録なのか、それとも、おもしろいサンパーク全体を捉えた商標登録なのか伺う。

〔質疑〕文化体育活動センター修繕料97万2千円の内容を伺う。

〔答弁〕今回の商標登録は、おもしろいサンパーク、こじゅうろうキッズランド、おもしろい市場

平成30年度に手続きを行なっていたが、特許庁から登録認定の連絡が来ておらず年度を越えてしまったことから、いったん3月の専決予算で減額補正し、今回の補正予算に改めて計上したものである。

〔質疑〕ホワイトキューブ内に設置してある非常用発電装置のバッテリーについて、経年劣化

〔答弁〕ホワイトキューブ内に設置してある非常用発電装置のバッテリーについて、経年劣化

による性能低下を原因とした電圧不足が確認され、停電などの緊急時に不具合が生じるおそれがあると判明したことから、緊急的な修繕を行う必要が生じたため、予算を計上したものである。

〔質疑〕未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金事業について予算が計上されているが、手続きの流れと受けられる月、また、どのような形で受けられるのか伺う。

民生費

〔答弁〕この事業については、本年10月31日が基準日となっている。

本年11月に児童扶養手当の支給を受ける父または母で、基準日現在までに法律婚をしていないことがない方が対象となり、給付額1万7千500円を来年

1月の児童扶養手当支給に合わせて支給するものである。手続きについては、今後、周知していくが、児童扶養手当は毎年8月に現況届けを提出していたことから、その手続きと同時にこの給付金の申請手続きを行えるよう進めたいと考えている。

農林水産業費

〔質疑〕測量設計等委託料20万円が計上されているが、この内容を伺う。

〔答弁〕この委託料は、現在、おもしろいサンパーク内で整備を進めている、みのりキッチンの建築確認申請に必要な分筆測量を委託するものである。

〔質疑〕おもしろい市場は、オープンして約1カ月半ほど経過したが、現在までの売上金額や来場者数を伺う。

〔答弁〕4月25日のオープンから6月9日までの売上金額は、約4千万円ほどとなっている。来場者については、約8万3

千人、レジで買い物をしていただいた方は約2万9千人となっている。

商工費

〔質疑〕白石観光まちあるきガイド養成講座補助金について、具体的な内容を伺う。

〔答弁〕この事業は、本市に在住する16歳以上の男女10名を対象に、座学や先進地視察、実地研修などの講座を16回行い、観光まちあるきガイドを育成し、この講座を修了した方が観光客への観光案内等のサービスを有償で提供するものである。

〔質疑〕観光案内等のサービスを有償で提供することによるニーズはあるのか。

〔答弁〕本市全体の商店や自然環境など全てを網羅し、短い時間で案内することになるが、他の地域においてもそういったニーズはかなりあるということから、今回、白石まちづくり株式会社より、ぜひ行いたい旨の申請があったため、予算を計上したものである。

土木費

〔質疑〕河川堤防除草業務委託料28万5千円が計上されているが、どの河川を指した業務なのか伺う。

〔答弁〕この委託料は、宮城県管理河川の堤防除草に係るもので、白石川、大太郎川、児捨川、天津沢川、斎川、谷津川の市内6河川となっている。

〔質疑〕6河川の除草ということだが、どの程度の業務を行うのか。

〔答弁〕この6河川の除草面積は、約11万平方メートルとなっており、のり面の除草を中心に作業を委託するもので、県の仕様に基つき、発注の準備をしている。

教育費

〔質疑〕部活動指導員報酬48万円とあるが、部活動指導員と外部指導員との違いについて伺う。

〔答弁〕本市では平成30年度まで宮城県の運動部活動外部指導員派遣事業を活用し、各中学校の要望を受け、外部指導員をお願いしてきた。

外部指導員は、生徒への実技指導にのみ携わるものであったが、今年度から配置する部活動指導員は、生徒への実技指導に加え、大会や練習試合の引率、生徒指導に係る対応、安全・障害予防に関する指導、指導計画の作成、部活動の管理運営、保護者への連絡、用具・施設の点検管理に携わることができ、この点が大きな違いとなっている。

〔質疑〕本年度からの活用について、配置することの効果と具体的な配置内容を伺う。

〔答弁〕部活動指導員は、年間を通じた指導計画の作成や安全指導、大会への引率、保護者との連携に携わることができるところから、より充実した生徒への指導が可能になる。

さらに、生徒の心身ともにバランスのとれた生活や教職員ライフワークバランスの実現

にも効果があると考えている。今年度は本市のモデル事業として、まず白石中学校に2名、剣道部とサッカー部に配置し、期間については、7月から翌年3月までの配置としている。

◎令和元年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)

〔質疑〕今回、生活基盤施設耐震化等交付金を新たに利用し、国道113号の基幹管路老朽管を整備することだが、来年度以降もこのような交付金を利用する見込みや計画はあるのか伺う。

〔答弁〕本市における水道管、特に鋼管の部分については、中心市街地において多く使われており、その多くは昭和28年から昭和30年代前半に布設されたものである。

今回、生活基盤施設耐震化等交付金に該当する鋼管は、あくまでも基幹管路として扱われるものが該当となるが、本市においては、国道113号に埋設されている管や、旧国道4号、市

道中央通線などに埋設されている一定以上の太さのある管路など、水道事業においてメインとなる管について基幹管路の位置づけを行なっている。

来年度においては、旧国道4号の配水管について、この交付金を活用し、老朽管更新を行なっていきたいと考えているが、申請し採択を受けることが前提となるため、採択に向けて努力していきたい。

〔質疑〕今回、基幹管路のみ認められたことだが、基幹管路は、本市の管路からいうと、何割ぐらいに該当するのか。

〔答弁〕割合としては出していないが、国道113号あるいは旧国道4号のほか、例えば、二ツ森水源池から市内の配水池に水を持ってきている管路など、そういった重要な管路について基幹管路として位置づけをしていきたいと考えている。

この基幹管路の扱いが交付金事業の対象となったのは今年度からであることから、基幹管路についてどこまで扱って

ただけるかは、今後、県とも協議しながら探していきたいと考えている。

〔質疑〕基幹管路として認めてもらえるかは今後の課題だと思いが、それを認められたとしても、国の予算が認められない本市の鋼管は大分残るといことになるのか。

〔答弁〕現状としては、基幹管路として認められないであろう鋼管も大変多くあるが、今回の交付金のいかんにかかわらず、上水道再構築計画においては、計画的に更新を行なっていくこととしている。

ただ、財源的に交付金対象となれば、非常にメリットがあることから、今後もそういった国の交付金事業を最大限活用しながら鋼管の更新について取り組んでいきたい。

**スマートインターチェンジ設置
推進特別委員会中間報告**

定例会初日(6月6日)、スマートインターチェンジ設置推進特別委員会の活動経過について、四電英夫委員長より中間報告がなされました。

報告の概要については、次のとおりです。

令和元年5月28日に関係部課長等の出席を得て、スマートIC設置に向けた現状について報告を受け、今後の進め方について協議を行なった。

はじめに、当局から昨年8月よりこれまで、関係機関と適宜相談しながら調査・検討を進めている旨の説明があり、昨年10月には鬼小十郎まつりへ車でお越しの来場者を対象に、さらに、11月には市内製造事業所等の企業を対象にアンケート調査を行い、東北自動車道の活用状況等について実態把握を行なった旨の報告があった。

また、今年3月には「スマートIC整備に関する庁内検討

会議」を開催し、現状の共通理解と今後のスケジュールを確認したとの報告があった。

最後に、スマートICの設置位置については、整備効果と関連して最も効果がある箇所を選定していくとした上で、期待できる主な効果として「企業支援と新規企業誘致等による交流人口拡大」、「新たな周遊観光ルートによる観光産業の活性化」について具体的な事例を踏まえた説明を受けたほか、近隣自治体とも連携を図っていく旨の説明があった。

スマートICの設置については、まだ多くの段階を踏まなければならず、かなりの時間を要することから、引き続き当局との情報共有、意見交換を行う等、継続した委員会活動が今後も必要であることを確認したところであり、改選後に本特別委員会が引き続き設置された際には、これまでの活動成果を引き継ぎ、設置に向けた取り組みを更に推進していただくたいと考えている。

議会を傍聴してみませんか!

9月定例会は、9月5日(木) 午前10:00開会予定です。

また、インターネットで議会のライブ中継や録画映像の視聴もできます。

●6月定例会の傍聴者数 35人 ●ライブ中継・録画視聴者数 672人

**市政に
対する
一般質問**

〳〳〳8名の議員が質問〳〳〳

6月定例会の一般質問は、6月17日・18日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

小川 正人 白石市都市公園条例について

他

松野 久郎 白石市保健事業推進員の活動について

他

佐藤 龍彦 子ども医療費助成の拡充について

他

佐久間儀郎 成年後見制度の利用と充実について

他

管野 恭子 期日前投票の宣誓書について

他

菊地 忠久 自治体RPAについて

他

四竈 英夫 交通安全対策について

他

伊藤 勝美 会計年度任用職員制度について

他

白石市都市公園条例について

小川 正人



〔質問〕 4月8日の夕方6時、NHKでれまさむねの桜開花情報では、益岡公園が満開と案内された。

しかし、益岡公園を白石市民は知っているが、今では益岡公園よりも白石城のほうが知れ渡っていると感じられる。

私も経験があるが、益岡公園はどこですかと聞かれることがある。観光業に携わる方々も聞かれることがあるそうです。

そこで、桜の名所益岡公園が、本市に観光へ来た方々全てにすぐ分かるよう条例を改正し、例えば白石城益岡公園などといった名称に更

更することを検討すべきではないか。

〔答弁〕【市長】益岡公園は、白石城から白石高校向かいのテニスコートまでの総合公園となっており、条例改正については、これまでの歴史的な経過を踏まえると、慎重に検討しなければならぬものと考えている。

なお、本年4月に開催した白石城桜まつりに際しては、白石記者クラブへの記者会見の際に、開催会場を白石城本丸広場と報道していただくよう要請しているところである。

〔質問〕 開催会場を白石城本丸広場と報道していただくよう要請しているとのことだが、白石城と報道されなかったことから質問をしているものである。

白石記者クラブへの要請も必要であるが、逆に新聞やテレビの報道関係者に白石城と報道していただくためには、どのような条件を満たせばよいかを提案してはどうか。

〔答弁〕【市長】益岡公園だけでは分かりづらいところもあることから、報道機関には、白石城本丸広場として報道してもらおうの要請をしているが、全ての報道機関から白石城という統一した報道はされていないのが現状である。

ご提案いただいたように、報道機関に白石城という名称で報道をしていただくためには、市としてのような準備が必要かなど、検討する価値は十分あると考える。

今後、前向きに検討させていただきます。

【その他の質問】
◎玉幸の有形文化財（建造物登録について）

白石市保健事業推進員の活動について

松野 久郎



〔質問〕 白石市保健事業推進員の職務について、設置要項では「市民の健康づくり実践活動を推進し、かつ、市が実施する健康診査、健康づくり事業等に協力し」とあるが、これまでの活動状況と成果について伺う。

〔答弁〕【健康推進課長】これまででは、成果が見えるような状況ではなかったと思う。

平成30年度からは方針を修正し、市から情報を提供するだけの研修ではなく、地区ごとのグループワークにより地域の課題や推進員自身が行いたいことなどを保健師・管理栄養士と一緒に考え、活動して

いこうと動き始めているところである。

〔質問〕 令和元年度の活動計画について伺う。

〔答弁〕【健康推進課長】今年度は、越河、斎川、大平の各地区で推進員同士によるグループワーク形式の研修会を企画している。

また、推進員からの地域の方への声かけや健康に関する情報の提供により、健診に行ってみようという地域の意識向上に期待し、一緒に取り組んで行く。

◎小中学校統廃合後の跡地利用方法について

〔質問〕 統廃合後の斎川小学校跡地利用について、斎川まちづくり協議会から要望書を受けた後の検討内容や現在の進捗状況を伺う。

〔答弁〕【市長】斎川まちづくり協議会から跡地

利用の要望を受け、関係各課と検討を重ねた結果、公募により活用を希望する事業者を募ることとした。

現在、条件等の詳細について検討を行っており、7月中旬にホームページで公募記事を掲載し、事業者を選定する考えである。

〔質問〕 南中学校、白川中学校の跡地利用について、現在までの取り組みを伺う。

〔答弁〕【市長】文部科学省の「みんなの廃校プロジェクト」に登録することで広く周知し、跡地活用について、さまざまな提案をいただきたいと考えてる。

みんなの廃校プロジェクトとは、全国の廃校情報を集約し、活用ニーズとマッチングを図るため文部科学省が立ち上げたプロジェクトのことである。

【その他の質問】
◎白石市森林環境譲与税について

子ども医療費助成の拡充について

佐藤 龍彦



〔質問〕子ども医療費助成事業を高校卒業まで引き上げることができないのか伺う。

〔答弁〕【市長】現在、子ども医療費助成事業の恩恵により無料で受診できるため、過剰あるいは安易な受診、いわゆるコンビニ受診を招きかねないという指摘もある。

また、波及増加分試算額と国庫特別調整交付金の減額調整分とを合わせた財源をどのよう確保するかを考えると、現在の本市の財政状況では対象年齢の拡大は厳しいことから、高校卒業まで引き上げる考えはない。

◎交通弱者対策について

〔質問〕本市として、運転免許返納を後押しするための対策は考えていないのか伺う。

〔答弁〕【市長】一般社団法人宮城県タクシー協会がタクシーの料金1割引きを行なっており、65歳以上で運転経歴証明書を提示すれば割引の適用が受けられる。

本市では、免許返納にかかわらず、70歳以上の高齢者を対象として、市民バスの料金が半額の100円で利用できるようになっている。

しかしながら、交通安全の観点から、サービス制度の有無にかかわらず運転に不安を感じた場合には、自主返納を検討していただくことをお願いしたい。

〔質問〕今後、本市の公共交通のあり方について伺う。

〔答弁〕【市長】市民生活にとって、公共交通が果たすべき役割は非常に重要であると認識している。

本市の公共交通の中心をなす市民バス、乗合タクシーは、通学、通院、買い物など市民の生活の足として大変重要な役割を担っている。

本市では、公共交通の課題に対応するため、既存8路線に加え、昨年からは中心市街地循環の試験運行や中学校統合に伴う通学のため、白川線の増便、越河線のルート見直しなどを行なっている。

今後も白石市地域公共交通網形成計画に基づき、関係機関と協力することともに、地域の意見を聞きながら、将来にわたって市民が安心して暮らし続けられる公共交通を確保していきたいと考えている。

成年後見制度の利用と充実について

佐久間 儀郎



〔質問〕住民は、日常生活においてさまざまな契約行為があり、認知症の方々を支えるためには、成年後見制度の利用について、行政は積極的に協力しなければならぬと考えます。

これまでの市長による成年後見の申し立て状況を伺う。

〔答弁〕【長寿課長】市長申し立てによる成年後見制度については、平成19年に要綱を定め実施してきており、その実績は、平成22年度2件、平成28年度2件、平成29年度2件、平成30年度2件の合計8件である。

うち、平成22年度の1件は、調査途中で申し立ての見送りを行った。

〔質問〕実績もすでに8件ほど上がっているというところで、若干安堵しているが、成年後見制度の必要性は一層高まってきている。

また今後、成年後見制度において、後見人等が高齢者の介護サービスの利用契約などを中心に業務を行うようになるであろうと予想される。

このことから、これらの成年後見制度については、弁護士などの専門職後見人がその役割を担うだけではなく、専門職後見人以外の、いわゆる市民後見人を中心とした支援体制が必要であり、厚生労働省においても、その支援事業が実施されている。

成年後見制度の充実には早急に必要となることである。

あり、制度に関する一定の知識を身につけた「市民後見人」の養成、これは単独でも本市で行うべきでないかと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】後見の業務に当たっては、専門知識はもとより問題を抱えたケースを取り巻くさまざまな利害関係者と関わりを持ち、個人では耐えがたい重圧を受けることが多いこと、また、業務を途中で中断もしくは放棄されるリスクがないよう、信頼のおける実績ある法人にお願いしてきたところである。

このことから、今後も既存の法人と連携をとりながら、その中で後見人が不足するような事態が起きないよう対応してまいりたいと考えている。

◎その他の質問

◎通学路等の安全対策について

期日前投票の宣誓書について

菅野 恭子



〔質問〕近年、全国的に期日前投票人口が増加傾向にあり、受付では長時間待ちの現象が発生している。

このような中、期日前投票に必要な宣誓書を投票所入場券の裏面に印刷し、投票所入場券と一体にして、有権者に送付する選挙管理委員会が増えている。宣誓書記入を事前にできることで、受付の混雑緩和はもちろんだが、期日前投票に対する有権者の負担軽減にもつながるとしている。

〔答弁〕【選挙管理委員会事務局長】宣誓書と投票所入場券の一体化を実施している自治体によれば、効果がある反面、紙面的に文字が小さくなり、見えにくいという課題もあるとしている。

本市では、本年7月実施の選挙から、投票所入場券にバーコードを導入することから、このバーコードによる期日前投票の混雑緩和への効果を見た上で、一体化については検討をしていきたい。

えるので、市ホームページへの掲載の他に、市の総合窓口や各公民館などで配布できるようにしたい。

◎乳児用液体ミルクの災害時活用について

〔質問〕今年3月、国産の乳児用液体ミルクが販売され、備蓄導入する自治体が増えている。本市において、備蓄が難しいのであれば、災害時の優先搬入を導入してはどうか。

〔答弁〕【市長】本市と業者間で締結している「災害時における応急生活物資の供給協力等に関する協定書」の物資リストに加える検討をしていきたい。

◎学校体育館へのエアコン設置導入について

◎マンホールトイレ導入について

◎季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成対象者の拡大について

自治体RPAについて

菊地 忠久



〔質問〕RPAとは「Robotics Automation」の頭文字をとった略語で、人間が手作業で行なっている定型的なパソコン操作をソフトウェアロボットに代行させ、作業を自動化する技術、取り組みである。

何う。

〔答弁〕【行政改革推進室長】全庁的な推進体制の確立や、対象事業の洗い出しのための業務フロー作成が必要である。

本市の行政規模において、どの業務に対して、どのようなプロセスで導入することが効果的かなど、費用対効果や業務の効率化、継続性等の観点での検証が重要であると考えている。

〔質問〕本市でも早期にRPAを導入し、業務の効率化によって、住民サービスの向上につなげるべきだと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】RPAの導入による業務の効率化は、将来にわたって行政サービスの維持向上を図る上で有効な手段の一つである。

入力や登録などの単調な定型作業を代替することで、業務効率が高幅に向上できる効果があり、少子高齢化に伴う職員不足や働き方改革にも対応できることから、導入する自治体が増えている。

RPA導入に課題があるとするれば、どのようなことが考えられるか

白石市行財政改革推進計画集中改革プラン第4次改訂版においても、定型的な業務など事務事業全般にわたって見直しを図ることとしており、本市の目指すべき方向性と一致していることから、RPA導入に向けた検討を行なっていきたい。

〔質問〕現時点で、具体的にどういったことを検討するのか伺う。

〔答弁〕【市長】導入自治体がまだ少ないため、まずは情報を集めていきたい。

RPAの他にも、AIやIoTをいかに取り組んでいくことが、これからの行政運営の大きなテーマになってくると考えている。

導入自治体の取り組み状況を研究しながら、さまざまな角度から検討していきたい。

◎公園等の樹木や街路樹の管理について

交通安全対策について

四 電 英 夫



〔質問〕本市では、4月28日で交通死亡事故ゼロ500日を達成し、県知事と県警察本部長から褒状が伝達された。

喜ばしい限りであるが、今後さらに無事故を続け、記録を伸ばして行くための対策について伺う。

〔答弁〕【市長】今回の記録達成は、交通安全協会を初めとする関係団体の熱心な活動があったからであり、深く感謝申し上げたい。

事故防止対策については、引き続き子どもと高齢者の安全な通行の確保や高齢者運転の事故防止、飲酒運転の根絶などについて、交通安全関係団体や白石警察署などと連携を図り、市民の交通安全意識の向上を高めていきたいと考えている。

◎小中学生の安全対策について

〔質問〕先日、通学途中に突然暴漢に襲われ、幼い命が奪われる痛ましい事件が発生したが、登下校時の安全対策について伺う。

〔答弁〕【教育長】本市では、幼稚園も含めた各学校で不審者対策として、定期的な防犯教室や交通安全教室などを行なっている。

また、今回の事件後、各学校に防犯マニュアルの周知徹底と再点検を指示し、保護者に対しても協力を要請している。〔質問〕万が一、不測の事態が発生した場合は、どのような対処を行うのか。

〔答弁〕【教育長】不測の事態が起きないように対策を講ずることが最も重要であると考えている。

危険箇所の確認や適切な人員配置、子どもたちへの事前指導などを各学校で行い、事件・事故防止に努めるとともに、不測の事態に備えた連絡系統の確認も指示している。

◎緑地公園運動施設の改善について

〔質問〕緑地公園内のトイレの扉、水道、駐車場など、施設の整備をしてほしいとの要望があるが、所見を伺う。

〔答弁〕【都市整備課長】緑地公園のトイレの扉については、現在、要望は出ていないが、詳細を確認して適切に対処したい。

また、公園施設の不具合については、連絡があれば現況を確認の上、必要な対応をさせていただきます。

会計年度任用職員制度について

伊 藤 勝 美



〔質問〕来年の4月1日から、臨時や非常勤、嘱託などさまざまな任用形態がある自治体の非正規職員に対して、それぞれの任用根拠を検証し、適切な任用形態にするという趣旨の法改正となる「会計年度任用職員制度」が導入されることとなる。

本市のフルタイム・パートタイムの非正規職員について、職種や職域別の配置数、正規職員との配置割合は、現在どのようになっているのか伺う。

〔答弁〕【総務部長】平成30年度に任用したフルタイムの臨時・非常勤職員は43名で、保育園等に41名、教育関係施設

に2名となっている。

パートタイムの職員数は、保育士や事務職員など153名で、合計すると196名という状況である。

〔質問〕制度施行に向けての準備・検討等を行なっている段階で、問題点や課題などがあれば伺う。

〔答弁〕【総務部長】現在のフルタイム・パートタイムの職員が、来年度以降は正職員と同様に公務員の身分となり、給料の他、新たに期末手当等も支給することとなる。

来年度は約9千万円ほど増える見込みで、課題としては、財政的な部分での負担増になると捉えている。

〔質問〕今回の制度導入に当たり、本市の財政負担が増大することは明らかである。

らかである。

今回のケースは、新たな制度導入に伴うものであることから、臨時・非常勤等職員の適正な任用、勤務条件を確保することを目的とした地方自治法や地方公務員法の改正の趣旨を踏まえ、地方財政計画に必要な財源を盛り込むよう、今後、市長会を通じて国に要請するべきではないかと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】平成30年秋の宮城県市長会及び平成31年春の宮城県市長会において、会計年度任用職員制度の施行に伴い、十分な財政措置を講じるよう、すでに国や関係機関に対して要望している。

今後ともさまざまな機会を捉え、引き続き要望をしていきたいと考えている。

【その他の質問】

◎交通安全対策について

開かれた議会を目指して 市民と議会の意見交換会

議会では、平成26年12月定例会において議会基本条例を制定し、平成26年度から『市民と議会の意見交換会』を開催しています。

この意見交換会は、議会の報告と市民の皆さまとの意見交換を行う場として、重要な位置付けをしております。

今回、第5回目となる意見交換会は、3月24日、31日の2日間、それぞれ日曜日の午前と午後の2回に分け、白石市役所を会場として開催しました。

今回は、各常任委員会ごとにテーマを設け、対面及びグループに分かれてのワークショップ形式により意見交換を行いました。

延べ38人の市民の皆さまの参加により、多くの貴重なご意見をいただくことができました。

議会では、意見交換会でいただいた市民の皆さまからの声

を、議会の活動や市政の発展につなげるため、取り組んでまいります。

この意見交換会は、継続して開催していきますので、今後とも市民の皆さまのご協力をよろしく、お願いいたします。

いただいたご意見の一部をご紹介します。

総務産業建設常任委員会

平成31年3月24日(日)

工業団地の先行的造成について

- 企業誘致による人口や税の増効果は実質どのくらい見込めるのか。
- 工業団地創出と併せ、交通の便の良さを活かした住環境整備を行うべきである。
- 工業団地造成が目的ではないか。

- くどのような企業を誘致していくかが重要である。
- スマートインターチェンジと企業誘致の関連はどのようになっているのか。

観光客誘客について

- 市の観光資源の質を向上させる必要がある。
- 外国人観光客の誘客については、どの国を対象にするか絞り込む必要があるのではないかと。
- 観光客に対するおもてなしの心を醸成することが大事であり、市民全体で取り組むことが課題である。
- 白石城の景観が良くなるよう、周辺環境の整備を行うべきではないか。

厚生文教常任委員会

平成31年3月31日(日)

健康・福祉について

- 介護予防のために予防サービスマスへのシフトが大切ではないか。

- 高齢者の各種行政サービスの申請について、窓口などをもっと分かりやすくすることが必要ではないか。
- 国保の人間ドックをもっと活用するようPRしてほしい。

子育てについて

- 待機児童について、どのような対策を講じているのか。
- 子育てと同時に食育の指導も若い夫婦にしてほしい。
- 子どもと地域の人たちが連絡をとるようなシステムはどのようなシステムか。
- 道徳の問題を生涯学習で教えることが必要かと思う。

教育について

- 学力向上について、どのように展開していくのか。
- 子どもの数は年々減少しているが、予算も減っていくのか。
- 閉校した南中学校、白川中学校の跡地利用はどうなるのか。
- 学校統廃合計画は、今後もどうなるのか。

第5回市民と議会の意見交換会報告書について

今回行われた『第5回市民と議会の意見交換会』の報告書には、いただいたご意見とそのご意見に基づいた議会としての今後の取り組み、アンケート結果などを記載しております。

この報告書は、各公民館に備え付けておりますので、ぜひご覧ください。

また、市議会のホームページにも公開しておりますので、こちらからもご覧いただくことができます。



意見交換会の様子(総務産業建設常任委員会)

人事

6月定例会において、次のとおり任命・推薦することに同意しました。

〔固定資産評価員〕

山家 英男 氏

〔教育委員会委員〕

〔任期〕令和元年7月1日～
令和2年9月30日

小室 秀一 氏

〔監査委員〕

〔任期〕令和元年7月1日～
令和5年6月30日

遠藤 智 氏

議員表彰

去る6月11日に開催された第95回全国市議会議長定例会において、次の方が表彰されました。

◎特別表彰

（議員在職20年以上）

沼倉 啓介 議員
山谷 清 議員

意見書

定例会最終日（6月19日）に議員提案として次の意見書が上程され、採決の結果、賛成少数で否決されました。

◎国民健康保険制度に関する意見書（概要）

国民健康保険制度は、国民の4人に1人が加入し、社会保障及び国民皆保険の医療制度を支える重要な基盤となっているが、国民健康保険税の滞納世帯は全加入者の15%を超えており、加入者構成は、その8割近くが年金生活者などの「無職」や「非正規雇用」などとなっている。

また、世帯の人数が保険料に影響するのは国保だけでなく、国民健康保険税における「均等割」と「平等割」を合わせるのと、全国で徴収されている保険税額はおよそ1兆円とされており、1兆円の公費投入で「協会けんぽ」並みの保険料とすることは可能である。

よって、国民健康保険引き下げのため、国に対し、国庫負担の増額を強く求めるものである。

第435回 市議会定例会（6月19日）

意見が分かれた議案の賛否一覧

議案	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		佐藤 龍彦	保科 善一郎	伊藤 勝美	澁谷 政義	沼倉 啓介	平間 知一	菅野 恭子	志村 新一郎	大野 栄光	山谷 清	四竈 英夫	小川 正人	菊地 忠久	佐藤 聡一	佐藤 秀行	松野 久郎	大町 栄信	佐久間 儀郎
議提第2号 国民健康保険制度に関する意見書	否決	○	○	○	○	○	○	×	議	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない



議会広報委員会委員

議会広報委員会 委員

- 委員長 管野 恭子
- 副委員長 佐藤 聡一
- 委員 佐藤 龍彦
- 委員 保科 善一郎
- 委員 伊藤 勝美
- 委員 四竈 英夫
- 委員 菊地 忠久
- 委員 佐藤 秀行
- 委員 松野 久郎

編集後記

市民の皆さま方には、日頃より市政に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、毎回「議会だより」をご覧いただき、ありがとうございます。

平成から令和の時代に移り、今回最初の「議会だより」をお届けすることができました。

と同時に、現在の議会広報委員会編集最後の「議会だより」となります。

先般、任期満了に伴い、議員の改選が行われ、新たな市民の代表が選出されました。

議会広報委員会も新たな体制のもと、議会の活動状況を

市民の皆さまに分かりやすく、そして親しみやすい議会広報づくりを努力していただきました

と思います。どうぞ今後とも、よろしくお願いたします。

議会広報委員会

佐藤 秀行